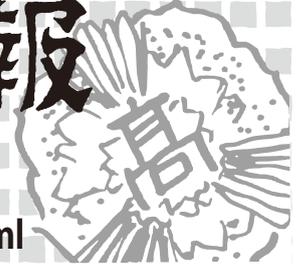


西麗会会報



埼玉県立浦和西高等学校同窓会

西麗会ホームページ <http://www.seireikai.org/index.html>



春日さきは
掃ひりもあまき
ちんころ
な

すくすくと伸びよ
桜の若樹

(2013年2月13日 植樹)
写真撮影・万葉の歌揮毫：広報部



2014

会長あいさし

「西麗会グローバル応援プロジェクト」スタート

西麗会会長 村上明夫(昭和36年卒)



全国の西麗会会員の皆さん、お元気ですか。母校西高は今年八十周年を迎えます。今、西麗会もPTAや後援会、学校と一緒に準備に大わらわです。

西麗会の役割は、会員の親睦と在校生への応援です。一層、クラスや学年、クラブなどの親睦のお手伝いをしたいと思います。

在校生への応援では「西麗会グローバル応援プロジェクト」を始めます。

埼玉県の高高へのグローバル・ハイスクール指定校制度は終わりましたが、西麗会で学校が生徒さんに対して行なう国際交流事業を更に活発にするための援助と「西麗会文庫」を創ります。

「目は広く世界に(グローバルに) 足はしっかりと地域に(西高のある地域に)」を、すこしでも実現しようとするものです。

高校生活はたった三年間にすぎません。でもこの三年間の一年は「十年を一年に圧縮した一年」だと思えます。

私にとって西高時代の三年間は、かけがえのない日々でした。同級生や先輩、後輩、先生方には感謝の言葉もあります。

そんな西高生活をプレゼントするお手伝いが出来ればと思っています。西麗会会員の皆さんの熱い応援をお願いします。

表紙のことば

長い間、西高の春を彩ったソメイヨシノは2010年8月2日に伐採されました。

昨年、西麗会は「万葉の庭」整備の一環として万葉集にちなんでヤマザクラを母校に寄贈しました。

岩手県遠野市からやってきた桜の若樹は西高の土に根づいたようです。

表紙の写真は植栽後一年を経た桜樹です。万葉の歌は詠み人知らずで

春さ^{かさ}らば挿頭^{かざし}にせむと

わが思^{おも}ひし桜の花は

散りにけるかも

(巻一六一三七八六)

意味は

「春になったらかんざしにして髪にさそうと

思っていた桜の花は散ってしまった

ことだなあ」ということです。



私と西高

「西高力」と生物学研究の接点

林 克彦(平成二年卒)



手であるという理由から水泳部に入りました。半分思いつきで入った水泳部ですが、泳いでみると実に面白くてとにかく毎日プールに行くのが楽しみでした。

私が入学したのは昭和62年、当時から浦和西高校の人気は高く、志願者の倍率の高さを心配する両親を横目に受験しました。私が西高を選んだ理由は中学生ながら西高に自由というイメージをもったからです。入学当初に行われた集会で校長先生が「西高は舌に楽しく、舌にも楽しくなければいけません」と仰っていたのは鮮烈で、来る高校生活に胸をときめかせたものでした。

高校三年間は主に水泳部の活動に集中しました。私は特に水泳の経験があったわけではないのですが、50mプールの広大さと夏の暑さが苦

その意義について顧問の平野和弘先生やコーチ、チームメイトとよく議論していました。中学までの部活動ではトップダウン的なメニューをこなしていたため、内容についてあれこれ考えることはなかったのですが、西高の水泳部では練習の意味や意図を理解して行うことができました(たまに納得できない練習は手を抜いておりましたが)。まさしく西高の校訓である自主自立を地で行っていたわけです。また西高の水泳部にはよくOBが訪問してきました。初めてお会いするOBも多かったのですが、話してみると西高出身者だ

けあつて気さくで一風変わった人が

多く、その豊富な経験談をいつも楽しく聞いておりました。これらの経験は私の人生において「自主自立の精神」西高力」を大きく延ばし、水泳部でできた生涯の友人たちと同じくらい貴重な財産となりました。

私は現在、細胞や遺伝子に関する研究を行っておりますが、研究において最も大切なことは「自ら考え、自ら行動する」ことです。まさしく誰も知らないことを明らかにしようとするわけですから、答えはどこにもありません。研究計画を自分で考えて、自分で実行するしかありません。また研究をデザインする上で様々な人たちの意見を参考にすることはとても重要なことで、この姿勢も西高時代に様々なOBとお話させて頂いた経験から学んだものです。高校・大学を通していつも成績は中

大事なことがあります。それは正しい問題意識をもつことです。通常、学校の教育では正しい答えを見つけて何を何度も繰り返してトレーニ

ングさせますが、正しい問題を見つけていることはあまりトレーニングさせません。これ自体は悪いことではないと思うのですが、研究の世界ではとにかくわからないことばかりですので、どんな問題設定をするかというのがとても重要になってきます。間違った問題にとりくむと膨大な時間を費やした末に、答えの意味がわからなかったり、間違った答えを出してあとから矛盾が出てきたりします。正しい問題意識をもつためには自分自身で色々な意味を考えることが重要であり、これも「西高力」に通じます。

少々説教じみたことを書きましたが、私は動物の配偶子がどのようにして作り出されているのかについて研究をしています。この研究は現在大きな問題になっている不妊症や山中先生が作られたiPS細胞の応用にも関わるものです。興味のある方は林克彦・京都大学で検索してみてください。ご質問等はメール(klayashi@anat2.med.kyoto-u.ac.jp)をくださればいつでもお答えします。

京都大学医学研究科
機能微細形態学講座
准教授



あの先生は今



平成二十五年五月二十六日に開催の西麗会総会の案内状にご回答いただいた先生方の返信を掲載いたします。紙面の都合で一部抜粋しておりますこと、ご了承ください。

(敬称略)

●東松山市 荒井 桂 (社会)

「雪降れば佳きことありしが一生(ひとよ) 雪と幸とは共に来るなり」教職の出発が西高に決まった日も、小雪が舞っていました。五十五年前の春まだ浅い日のことでした。

●世田谷区 飯高伊磨子 (英語)

西高でご一緒した先生方の訃報が続き、淋しい限りです。私も八十歳目前。一昨年のあの震災直前の級会に呼んでいただいたことを嬉しく思い出して居ります。

●川口市 石原慶代 (英語)

西高で2回めに担任した卒業生も春からは社会人。より広い世界での活躍をお祈りします。その学年の主任として支えてくださった宮崎先生もご定年を迎えられました。生徒以上に手のかかる存在だった私たち担任団は、ただただ感謝の気もちで一杯です。

●さいたま市 伊藤美和子 (事務)

いつも会報を懐かしく拝見しております。他界なさった諸先生、非常に寂しい思いです。ご冥福をお祈りいたします。

●さいたま市 五十嵐正晴 (校長)

西麗会総会のご盛会をお祈りいたします。

●さいたま市 白木恵二 (音楽)

あい変わらず合唱指導や彩の国いきがいが大学講師等、結構楽しく過ごしています。桜の季節になると校門からの坂の景色を懐かしく思っています。

●川口市 岡沢静子 (国語)

おかげさまで、それなりに元気です。

●さいたま市 悴田てる (家庭)

なんとか元気にしています。腰を痛めたため、押し車を使用している歩行となりましたが、今は短歌作りが楽しみです。

●さいたま市 黒澤和子 (家庭)

相変わらず公民館生です。本当は音痴なのですが、歌うことの楽しさを見つけ、童謡コーラスの優しく明るい、音大卒の若い先生の指導に嬉しく感謝の気持ちで過しております。

●さいたま市 小林 功 (国語)

昨年は大木君の長女誕生、関根さんの結婚のしらせをありがたうございました。西高の卒業生が幸せに過ごしているのは何よりうれしいことですが、そのどちらも保護者の方がしらせてくださったことは教員冥利に尽きるよろこびです。

●銚田市 斎藤 恂 (国語)

北関東自動車道が完成したので久しぶりに志賀高原の紅葉を愛犬連れで楽しんで来ました。日帰り往復670kmは自己最高で、今年はどこに挑戦しようかなと楽しみにしています。

●さいたま市 島崎富夫 (教頭)

定年退職後、高P連事務局の勤務2年目となりました。西高に着任された金子校長先生は旧知の仲なので、西麗会の立場からお支えできればと思います。

●さいたま市 菅原鉄也 (国語)

今年度は岩槻北陵高校でお世話になっていきます。合間には近くのお寺で、境内の清掃活動を行っています。無心の境地になれるところが気に入っています。

●上尾市 楚山大和 (英語)

定年退職後も、新たな環境で教職を続けています。八年目に入ります。趣味のジョギングや骨董市巡りも続いています。お蔭さまで元気に日々の生活をエンジョイしています。

●さいたま市 永瀬正臣 (校長)

いつまでも存続するものは信仰と

希望と愛との三つである。このうちで最も大きいなるものは愛である。このアガペーを実感しながら永眠できる幸せを感謝します。

●さいたま市 中村 清 (国語)

今春、傘寿を迎えました。戦中、戦後の混乱期をよく乗り越えてきたと今さらながら思い起こしております。それにつけても平和のありがたさが身に染みます。

●川越市 中村正美 (旧職員)

大学に勤めて三年が過ぎました。自分はどうどん年を重ねていきますが、学生は年をとりません。でも彼らはエネルギーにあふれ、こちらが触発されることが実に多いです。楽しくやっています。

●川越市 長谷川肇志 (数学)

八十五歳になりましたが、大病もせずまあ健康と思っています。趣味と家事で一日が過ぎますが、楽しみは昔の生徒さんとの会合です。西麗会のご発展を祈ります。

●東京都北区 堀川ひろみ (国語)

総会に欠席いたします。

●吉見町 堀口幸夫 (教頭)

今から二十五年ほど前に教頭として勤務し、日本史の授業も担当しました。なつかしく思い出します。当時としては珍しく服装が自由で、優秀な生徒達でした。

●さいたま市 松崎豊子 (英語)

創造力、実行力旺盛な西高生と共に過ごした日々。私の人生のかけがえのない記録になっています。

あの年の友



題字・カット
山本鐘互
(昭和40年卒)

宇都宮市 寺内房江(昭和13年卒)

会報有難う御座いました。今は九十を過ぎ楽しみは旧友との文通とテレビです。「ドラマよりドラマチックなテレビ見る 野球サッカー老いのいま人」

岡山市 鎌木美恵子(昭和14年卒)

会報を有難うございます。卒寿を迎え日々是好日の毎日を通して居ります。旧学び舎、田島ヶ原の櫻草等懐かしく思い出して居ります。今もお茶のお稽古を続けて居ります。

さいたま市 杉山(池田)幸子(昭和20年卒)

会報ありがとうございます。会報が届いた日に、クラス会のお知らせも参りました。嬉しい日でした。さいたま市 木村(中村)和江(昭和26年卒) 昔を偲び川柳で

若き日の想い出一杯八十路代

あの坂に遊ぶあの池別所沼

西高の誇りを胸に闘病中

東京都北区 小林稔正(昭和29年卒)

いつの間にか喜寿を過ぎた。西高時

代に脳裡に焼き付いて居る一つは通学電車からの美しい富士であった。朝日に輝く絶景は蔵から浦和の六分間の最高のドラマであった。

さいたま市 荒井利尚(昭和31年卒)

今夏には喜寿を迎えます。無縁社会が浸透し、私生活主義が蔓延する世の中にあつて個々人の生き方も問われています。社会との絆を大切に、足元の生き方を見つめ直し、感動できる年であることを願っています。

さいたま市 豊島泰之(昭和33年卒)

三十三年同期の仲間で、毎月、同窓会、ゴルフ、年一回の親睦旅行、お花見、忘年会を楽しんでいます。その主要メンバーの大沢(関根)忠正君が亡くなりました。ご冥福をお祈り致します。

さいたま市 沢村(前川)栄子(昭和34年卒)

健康維持の為、いろいろなサークル活動に参加して頑張っておりませんが、年を重ねる毎に覚えるのは

遅いのに忘れるのは早くて老いを痛感しております。

藤市 袖山宝右(昭和34年卒)

平成25年3月、全国初の60才以上全日本アイスホッケー選手権大会が苦小牧で開催。私も東京代表で出場。結果は2勝2敗で3位の成績。72才、現役で頑張っています。

新座市 松村昭子(昭和35年卒)

月日のたつのが早く感じられます。毎日元気で過ごしています。西麗会寄付金をお送りします。よろしくお願ひします。

大町市 八木 正(昭和35年卒)

立木を伐採したり、木工を楽しんだりと、好きな事に夢中になれる年令に感謝。皆様の健康を祈ります。

さいたま市 吉村克昌(昭和35年卒)

村上明夫様、長年の西麗会へのご尽力に感謝申し上げます。

文京区 林野 宏(昭和36年卒)

『運とツキの法則』に続いてB0を発刊致しました。皆さんの子息や知人若い人にきつと役に立つと思えますので、よろしければプレゼントしてあげて下さい。よろしく!!

さいたま市 本間一郎(昭和36年卒)

西麗会の益々のご発展をお祈り致します。

ひたちなか市 吉田邦夫(昭和36年卒)

清水氏を誘って初めて総会に出席。役員の方々の尽力に感謝する思い

を強くし、又五十年前には想像もつかなかった内外の変わり様に驚く、感慨深い一日でした。

さいたま市 斎藤俊和(昭和37年卒)

昨年の12月末アルバイトを止めました。約45年間体がよく動いたと思います。又いつも浦和西高周辺の見沼用水、芝川沿と見沼田んぼを歩いています。いい所です。

那須塩原市 濱中(富田)房枝(昭和38年卒)

千葉と那須を往来して十年。千葉へは母の見舞いとお茶の出稽古に、那須は伝統文化に関するNPOの理事として走り廻る毎日。西高時代も茶道と文芸部でした。

草加市 駒木寿美枝(昭和39年卒)

六十八年前、父が戦死したレイテ島に慰霊巡拝の旅に行つて来ました。島主が墓場となった激戦地。フィリピンの小学校に心ばかりの品を持つての慰問。子供達の明るい笑顔に慰められました。

さいたま市 佐野和義(昭和39年卒)

生まれも育ちも大宮は桜木町の私が二世帯住宅を新築し次男と同居で引越しました。永年住みなれた思い出の地桜木町我が家を離れるのは寂しいネ。

東京都北区 吉清森(里子)昭(昭和39年卒)

六十七才でやっと初孫を授かり、この一年間娘のお助けマンとして充実した日々を過しました。ここ

で一息、西高時代を思い出すゆとりができました。

さいたま市 石井隆夫(昭和40年卒)

昭和29年から与野駅に花を売っている華芳会の会長になって早や7年。各流派の先生方と週変わり活けてます。見かけたら、いつも見えますよ!!とひと声かけてネ。

さいたま市 沖田武彦(昭和41年卒)

私、父の会社、(株)エス・ケイ・ジェイを継ぎ、自動車会社の社長でやっています。本社はさいたま市南区別所です。

大田区 渋谷幸隆(昭和41年卒)

五十年過ぎた歳を離れ、大田区山王へ引越ししました。娘夫婦同居です。妻は昭和四十五年卒の嘉子です。人生共通の話題があることはありがたいものです。

名古屋市長 平田春夫(昭和41年卒)

毎日、家庭菜園とスポーツジム、図書館と週末のヨットに明け暮れ至って元気で過しております。名簿作成お疲れ様でした。懐かしい名前を見て感慨ひとしおです。

さいたま市 山本丈太郎(昭和41年卒)

南浦和で居酒屋「じよんのび」を始めて10年になりました。西高の後輩が、来店する事もあり楽しく仕事しています。

東村山市 野田 健(昭和42年卒)

42年卒ですが、40年強の企業人に

終止符を打ちのんびりとサンデー毎日の日々を過ごしております。何十年ぶるか実家の兄から西麗会の案内を受け懐かしく思います。

藤沢市 川戸(鈴木幸江(昭和43年卒)

悴田先生、関根みよチャン先生、中村先生にお世話になりました。

町田市 山本恵美子(昭和43年卒)

いつも会報をありがとうございます。

川口市 関口彰子(昭和44年卒)

二年前の三月に定年退職をしました。県立高校の教員を38年勤めました。母に勤務することはありませんでした。仕事への未練たちがたく再任用三年めに突入です。

海老名市 薄見伸次・扶美(昭和44・45年卒)

豊かな自然と街の便りを兼ね備えた海老名で二人して楽しい日々を過ごして居ります。

つくば市 大類由美子(昭和45年卒)

会報いつも楽しみにしています。私はつくばでジャムとスコーンを作っています。つくば駅の売店や青山のファーマーズマーケットでも販売しています。

所沢市 駒井 潔(昭和45年卒)

再任用2年目、県内の高校で40年勤めています。あと一、二年は地学と柔道の先生を楽しもうと思っています。日曜の地学「埼玉の自

然をたずねて」地学仲間をつくった本です。手に取ってみてください。

座間市 斉藤幸一(昭和45年卒)

定年退職を機に永年住み慣れた埼玉県から転居した。埼玉の住みやすさを改めて実感している。西高は懐かしい。

宝塚市 茂木 実(昭和45年卒)

還暦も過ぎ、3月末を以て早期退職し、新たな住居に引越し第二の人生を歩み始めました。西麗会会報は、いつも懐かしく拝見しています。西高の益々のご発展を!!

直方市 安藤(津上)洋子(昭和46年卒)

還暦となり、何かと十代後半の頃を思い出す日々です。今年こそ久しぶりに母校を訪問したいと考えています。

北海道北広島市 岩城真幸(昭和47年卒)

今年還暦をむかえます。それを記念して少しですが寄付金を送りまします。私の兄貴も3才年上で西高を出しましたが、17年前亡くなりました。兄貴の分まで長生きしたいです。

北本市 加藤えみ子(昭和49年卒)

なつかしいですね。与野駅での通学定期のカルタ大会。初めての電車通学の高揚感がよみがえります。あれから40年!私の通勤定期は今までも与野までです。

所沢市 岩田(森山)由美子(昭和50年卒)

会報いつも楽しく、拝見しています。今年の夏の甲子園予選で春日部共栄に3対5、一時はあわやという大健闘でした。今後が楽しみです。

大阪市 小島健一(昭和50年卒)

昨年10月、西高水泳部創部62周年祝賀会に参加してきました。苦境に在って尚、澁刺とした笑顔を忘れない現役選手達の姿に、新鮮な感動を覚えました。

久喜市 齊田保彦(昭和50年卒)

西麗会会報をいただくのと又、一年たったと実感します。日々の生活は慌ただしく、子育てと両親の介護に明け暮れています。西高へ行ってあの日の想い出を再び……。

板橋区 石川理恵(昭和51年卒)

実家の両親が最近お世話になつているM銀行のSさんは、世間話から分かったらしいのですが、高一の時に同級生だったS君でした。S君、今後ともよろしく願います。

世田谷区 川上昌之(昭和52年卒)

千葉から東京本社への異動に伴い住まいも都内に移りました。

江東区 野崎美夫(昭和52年卒)

55歳の誕生日を迎え、四捨五入すればなんと60歳ではないか……。それでもうつつむかず、55歳を逆手に

とってGo Goといきていこうと
思う今日この頃ではありました。
練馬区 新藤葉子(昭和53年卒)

高校卒業後、十年間続けていたヨッ
トに、昨年夏から、二十五年ぶりに
乗り始めました。体力、気力の衰え
を感じながらも、挑戦という気持ち
で楽しんでいきます。

蕨市 今原(岩田)真理子(昭和55年卒)

昨年東十条にバナソニックとアム
ウェイのジョイントオフィスを開
業しました。自宅マンションでの
テニスは十二年目になります。健
康第一を実感するこの頃です。

FRANCE 野村(Dubourg)久美子
(昭和55年卒)

一時帰国時に、三十年ぶりに西高時
代の友人と再会しました。彼女と一
緒に卒業生名簿を見ている内に、懐
かしさで胸一杯となりました。同期
の皆と再会したいです。

東久留米市 杉井美佐子(昭和55年卒)

ドイツ留学中の息子と欧州旅行し
てパリ在住の西高の同級生と30年
振りに再会。大阪在住の西高の同
級生と京都旅行桜と紅葉両方満喫
しました。

枚方市 岩崎泰之(昭和58年卒)

7年間にわたる3度目の海外赴任
から戻り、大阪にて日本での生活
をスタートさせています。浦和は
すっかり遠くなくなっていました。

板橋区 杉山美樹(昭和59年卒)

発達障害児向けのプログラムの支
援をしています。手応えを感じつ
つ苦戦中(笑)。

春日部市 藤田敏行・藤田(鈴木)久仁子
(平成3・4年卒)

住まいをさいたま市中央区から春
日部市へ引越しました。与野も
気に入っていましたが、春日部も
のどかで良い所です。

鴻巣市 守山恭子(平成5年卒)

元気です。西高フアイト。

さいたま市 豊永祥子(平成7年卒)

父・和田淳一が昨年度、女バスの
コーチを退きました。その際には、
中村先生をはじめ、たくさんの
OGの方々に祝っていたいただきま
した。ありがとうございます。

さいたま市 田村裕史(平成8年卒)

異動先の福島で震災を経験した後
埼玉に戻ってきました。

スイス 中澤陽香(平成9年卒)

第37号で、お世話になった先生方
の近況を伺うことができ、在学時
のことをなつかしく思い出しまし
た。昨年長女を出産し、現在子育
て真っ最中。自由にのびのび育つ
ように願っています。

さいたま市 井上(古山)嘉美(平成10年卒)

結婚して井上になりました。女の
子も授かり幸せに暮らしています。
さいたま市内の小学校で教員とし

て元気に働いています。

川口市 中内(栗原)渚(平成10年卒)

画家として少しずつ夢を叶える
日々です。学びも多く、感謝の気
持ちで一杯です。新宿伊勢丹ギヤ
ラリーにて隔年で個展します。よ
かったらお越し下さい。

台東区 畠山(荒木)真澄(平成13年卒)

先日弓道部の友人と西高に行き
ました。昔と同じ桜がキレイで
した。与野駅前のパン屋のエト
アールさんが閉店するそうで、
最後の記念にパンを買って帰り
ました。

神戸市 坂西野風子(平成16年卒)

書道部で大変お世話になりました
片岡先生、お元気でしょうか。紙
漉き、篆刻などまた教えて頂き
たいです。

八潮市 山野井久美子(平成16年卒)

西高がつないでくれた「縁」に
心からありがとうございます。泥
にまみれた女ハンのみんな。優
しいまなざしで背中を押してく
れた栗原文雄先生。想いは言葉
に咲く…。

芦屋市 小泉麻優(平成18年卒)

大阪で就職して一度引越し、今は
兵庫に住んでいます。なかなか休
みがとれるような仕事ではないで
すが、またクラスの皆に会いた
いなあ…と思います。

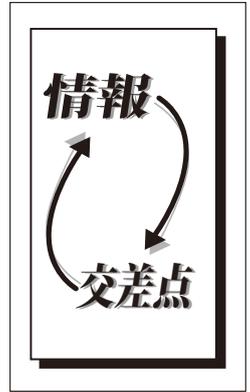
さいたま市 柳澤知里(平成23年卒)

3・11大震災の日に卒業式/ほん
とに思い出に残ります。大学のゼ
ミで石巻に行ったりしてまだまだ
復興は進んでいないと実感してい
る今日この頃ですが、そろそろ就
活に向かわないと…かな?西高女
子サッカーの活躍を楽しみにして
います。

会員訃報

心よりお悔やみ申し上げます。

- 戸田市 菅 淑子さん (旧3回)
- 東京都北区 小笠原政子さん (旧5回)
- さいたま市 細田喜一郎さん (5回)
- さいたま市 榎本 喜一さん (6回)
- さいたま市 石山 弘之さん (8回)
- さいたま市 中山 郁彦さん (9回)
- 川口市 野村 康男さん (9回)
- さいたま市 甘菜小代子さん (12回)
- さいたま市 鈴木 葉子さん (13回)
- 加須市 松永 繁さん (14回)



- 女子サッカー部は女子サッカー選手権大会で3位に入賞し、関東大会に出場しました。
- 女子バスケットボール部はさいたま市民大会で準優勝しました。
- 硬式テニス部橋本也実さん、根本みなつさん、石田龍之介さん(いずれも2年生)は県大会に出場しました。
- 空手道部は県新人大会において男子団体「形」8位、「組手」5位に入賞しました。
- 弓道部は南部地区大会において男子団体7位に入賞、田中大和さん(2年生)が関東大会県予選にて決勝に進出しました。
- 器械体操部は県南地区体操競技大会において女子団体総合5位に入賞、寺本達紀さん(1年生)が男子個人総合で3位に入賞しました。
- 山岳部中村元さん(1年生)は東部地区新人大会登山競技リードクライミングの部で4位に入賞しました。
- 美術部保田千晶さん、磯島穂さん(いずれも1年生)はさいたま市美術展に入賞しました。
- 地学部は科学教育振興展覧会南部地区展において「月面におけるカンラン石による1.05um吸収を検出

する試み」と「夏の太陽集中観測から」の研究でそれぞれ優良賞を受賞しました。

○山岸遼太郎さん(1年生)は第64回埼玉県高等学校英語スピーチコンテストにおいて準優勝となり、埼玉県代表として関東甲信越大会に出場しました。

○本会会員で流行語「草食男子」の名付け親として知られるコラムニスト・編集者の深澤真紀さん(昭和61年卒)は2013年9月1日、第63回西高祭のPTA文化講演会において「イマドキの若者は内向きで草食か」と題して講演されました。

○2013年11月1日、母校にて開催された進路講演会「未来の種」において、本会会員で(株)ファンデリー代表取締役の阿部公祐さん(平成3年卒)が起業について講演されました。



○旧職員諏訪部健先生(世界史)は2013年11月、さいたま市民会館うらわのサロンコンサートに出演し、シューベルト「菩提樹」の独唱を披露しました。先生はパーキンソン病



佐藤冬樹さん(昭和53年卒)

を発病して18年、リハビリを兼ねたレッスンの甲斐あって、聴き手の心に染み入る詠唱でした。

コンサート終了後、ロビーでは卒業生20人ほどが先生を囲み、同窓会

○西麗会理事会は2013年11月16日、恒例の理事研修旅行を実施しました。今回は地元埼玉県の生い立ちを知ろうという趣旨で、秋晴れの下、長瀬の埼玉県立自然の博物館を見学しました。その後秩父三社の一つでミシランガイドジャパンでも埼玉県初の一つ星の評価を得た宝登山に登りました。(事業部)



- | | | |
|---------|-------|---------|
| 校 長 | 菅野 吉雄 | 熊谷女子高校 |
| 教 頭 | 小林 邦雄 | いずみ高校 |
| 公 民 | 宮崎 博臣 | 大宮商業高校 |
| 日 本 史 | 石坂 晃一 | 鳩山高校 |
| 数 学 | 角田 聡 | 与野高校 |
| 数 学 | 田中 里奈 | 八潮南高校 |
| 理 科 | 佐藤 和平 | 蓮田松韻高校 |
| 理 科 | 内藤公美枝 | 大宮武蔵野高校 |
| 理 科 | 松田 洋子 | 大宮光陵高校 |
| 保 健 体 育 | 石井 泰三 | 草加西高校 |
| 保 健 体 育 | 野辺 香織 | 川口北高校 |
| 英 語 | 大澤みどり | 退職 |
| 英 語 | 峯崎隆一郎 | 松山高校 |
| 英 語 | 小林 幹子 | 八潮南高校 |
| 英 語 | 梅山絵里子 | 鴻巣高校 |
| 英 語 | 千谷 順子 | 中学校へ |
| 家 庭 | 黒木 美奈 | 川口高校 |
| 養 護 | 堀田美枝子 | 退職 |
| 事 務 室 | 酒井 雅代 | 大宮東高校 |
| 事 務 室 | 高橋真佐江 | 浦和一女高校 |
| 英 語 | 町田 純 | 任期満了 |

お世話になった先生方

平成25年度人事異動 (敬称略)

二〇一三年度

寄付者のお名前

(敬称略)

いつも西麗会への尊いご寄付をありがとうございます。約二万人の西麗会員の心を結ぶ会報の印刷・発送にあてられるほか、現役西高生の自治活動を応援するため、西高祭補助費などにも使わせていただいております。

本欄は毎年一月末日をもって区切り、それ以後に届いた分は翌年の会報に掲載いたします。



吉岡信子 吉田克子
和田久美子

昭和27年卒(4回)

梅田亮子 嶋田静子

田中まさ子

昭和28年卒(5回)

平岡幸子 大川長信

川岸萬知太郎 長島千和

細田喜一郎 島田幸子

寺村玲子

昭和29年卒(6回)

榎本喜一 前田正夫

黒沢和子 小林稔正

昭和30年卒(7回)

大熊幸子 西口和子

小林茂水 貫井博之

岩田澄江 橋本充子

森井良子 小川紘子

昭和31年卒(8回)

松崎喜美子 山田勝弘

新井英一 大森忠篤

長浜勝栄 松本晃

荒井利尚 山根祥二

大野八重子 栗本東子

都築聿之 冷水俊朗

原澤紀子

昭和32年卒(9回)

今井忠 木村みづほ

近藤聡子 金子悦子

小林久江 栗原能
立川武司 府川代四男

渡辺正朋 門本ヨリ子

豊島泰之 落合庄子

古畑喜美子 竹ノ谷光美

成田誠 町田利之

昭和34年卒(11回)

小川紀夫 清山和男

高村和子 斉藤肇

高橋幸雄 田中制示

中枝和子 三林芳子

袖山宝右 川畑啓子

庵浩子 岡崎輝子

松尾喜代太 吉田維夫

昭和35年卒(12回)

末武幸子 竹ノ谷裕子

松村昭子 林正子

高橋恵美子 佐藤喜和子

高橋正臣 八木正

吉村克昌

昭和36年卒(13回)

宮下巖 村上明夫

磯田昭子 小川敬子

小林茂 高橋司全

青山明子 斉須祥子

齋藤庸夫 豊島義明

野口純一 野吉田邦夫

林野宏夫

昭和37年卒(14回)
秋山圭子 一ノ宮和子

大山俊子 加藤早苗

倉持万千子 佐藤セツ子

酒井順子 田中征江

高成田広子 角田全子

長本和子 藤田由紀子

藤田静子 横内かほる

石井祐子 河嶋なほみ

坂本幸子 武田好子

平井和代 尹錫妍

金子毅一 神田邦

桐生碩博 小原康史

坂井公平 須崎保行

制野周弘 永井勝

上田和子 斉藤郁子

高橋初子 池上浩之

武田量三郎 都築良二

小林司郎 斎藤俊和

齋藤繁雄 高林勁一

野田剛 細田勝彦

村田博 森川幹郎

榎本光孝 斉藤三郎

高橋勝行 白鳥進

藤井克己 増田一仁

松原茂 吉岡信二

愛澤泰夫 秋山悦男

大熊隆 大塚宏

小林繁実 竹内真人
永橋隆雄 浜田宏治

肥田洋一郎 八木正武

渡辺勝洋

昭和38年卒(15回)
入澤洋子 小林元晴

加藤勝 亀田元司

中河原喬一 木戸晃

昭和39年卒(16回)
那須雅江 山田菜穂子

吉清里子 青柳信子

村井公子 小川陽子

小沼小夜子 駒木寿美枝

清水光男 田中裕子

那須弘美 佐野和義

山田康博 榎本正次

後藤鉄四郎 永田裕

村井勝美 大城戸一彦

佐藤誠造 森茂

山田信彦

昭和40年卒(17回)
熊木謙論 田口勝栄

野口哲夫 島野博司

金子揚子

昭和41年卒(18回)
大木葉博通 沖田武彦

西野久美子 宇根等

新藤文男 江川清

佐藤裕子 関根耀子

杉山幸子

高際ひさ子 森川靖子

梅峰八恵子 岡田幸子

粕川初枝 木村和江

昭和13年卒(旧1回) 寺内房江 中村きく 大熊綾子
昭和14年卒(旧2回) 鎌木美恵子 鈴木栄子 角田美沙枝
昭和16年卒(旧4回) 籠田君子 田口美與子 中野政子 花井喜久江
昭和18年卒(旧6回) 月野喜美子 鶴見初枝 天野美子
昭和18年卒(旧6回) 富田友子 渡辺富代 河岡克子 鈴木和子
昭和19年卒(旧7回) 小村幸枝 脇屋容子 宮田仁子
昭和20年卒(旧8回) 井上昭子 梅峰八恵子 岡田幸子
昭和26年卒(3回) 杉山幸子 高際ひさ子 森川靖子

昭和24年卒(旧12回) 新井英一 大森忠篤
昭和25年卒(2回) 長浜勝栄 松本晃
昭和26年卒(3回) 荒井利尚 山根祥二
昭和27年卒(4回) 渡辺正朋 門本ヨリ子
昭和28年卒(5回) 豊島泰之 落合庄子
昭和29年卒(6回) 古畑喜美子 竹ノ谷光美
昭和30年卒(7回) 成田誠 町田利之
昭和31年卒(8回) 小川紀夫 清山和男
昭和32年卒(9回) 高村和子 斉藤肇
昭和33年卒(10回) 高橋幸雄 田中制示
昭和34年卒(11回) 中枝和子 三林芳子
昭和35年卒(12回) 袖山宝右 川畑啓子
昭和36年卒(13回) 庵浩子 岡崎輝子
昭和37年卒(14回) 松尾喜代太 吉田維夫
昭和38年卒(15回) 末武幸子 竹ノ谷裕子
昭和39年卒(16回) 松村昭子 林正子
昭和40年卒(17回) 高橋恵美子 佐藤喜和子
昭和41年卒(18回) 高橋正臣 八木正

昭和42年卒(19回) 吉村克昌
昭和43年卒(20回) 宮下巖 村上明夫
昭和44年卒(21回) 磯田昭子 小川敬子
昭和45年卒(22回) 小林茂 高橋司全
昭和46年卒(23回) 青山明子 斉須祥子
昭和47年卒(24回) 齋藤庸夫 豊島義明
昭和48年卒(25回) 野口純一 野吉田邦夫
昭和49年卒(26回) 林野宏夫

昭和50年卒(27回) 野口純一 野吉田邦夫
昭和51年卒(28回) 林野宏夫
昭和52年卒(29回) 大熊隆 大塚宏
昭和53年卒(30回) 梅峰八恵子 岡田幸子
昭和54年卒(31回) 粕川初枝 木村和江
昭和55年卒(32回) 杉山幸子 高際ひさ子 森川靖子

昭和56年卒(33回) 梅峰八恵子 岡田幸子
昭和57年卒(34回) 粕川初枝 木村和江
昭和58年卒(35回) 杉山幸子 高際ひさ子 森川靖子

昭和59年卒(36回) 梅峰八恵子 岡田幸子
昭和60年卒(37回) 粕川初枝 木村和江
昭和61年卒(38回) 杉山幸子 高際ひさ子 森川靖子

昭和62年卒(39回) 梅峰八恵子 岡田幸子
昭和63年卒(40回) 粕川初枝 木村和江
昭和64年卒(41回) 杉山幸子 高際ひさ子 森川靖子

昭和65年卒(42回) 梅峰八恵子 岡田幸子
昭和66年卒(43回) 粕川初枝 木村和江
昭和67年卒(44回) 杉山幸子 高際ひさ子 森川靖子

昭和68年卒(45回) 梅峰八恵子 岡田幸子
昭和69年卒(46回) 粕川初枝 木村和江
昭和70年卒(47回) 杉山幸子 高際ひさ子 森川靖子

昭和71年卒(48回) 梅峰八恵子 岡田幸子
昭和72年卒(49回) 粕川初枝 木村和江
昭和73年卒(50回) 杉山幸子 高際ひさ子 森川靖子

昭和74年卒(51回) 梅峰八恵子 岡田幸子
昭和75年卒(52回) 粕川初枝 木村和江
昭和76年卒(53回) 杉山幸子 高際ひさ子 森川靖子

昭和77年卒(54回) 梅峰八恵子 岡田幸子
昭和78年卒(55回) 粕川初枝 木村和江
昭和79年卒(56回) 杉山幸子 高際ひさ子 森川靖子

昭和80年卒(57回) 梅峰八恵子 岡田幸子
昭和81年卒(58回) 粕川初枝 木村和江
昭和82年卒(59回) 杉山幸子 高際ひさ子 森川靖子

昭和83年卒(60回) 梅峰八恵子 岡田幸子
昭和84年卒(61回) 粕川初枝 木村和江
昭和85年卒(62回) 杉山幸子 高際ひさ子 森川靖子

昭和86年卒(63回) 梅峰八恵子 岡田幸子
昭和87年卒(64回) 粕川初枝 木村和江
昭和88年卒(65回) 杉山幸子 高際ひさ子 森川靖子

- 高橋みつ子 池澤堯彦 上野邦雄 塚原重和 齊藤登 豊田勉 吉田新一 山崎智与里 平成2年卒(42回)
- 渋谷幸隆 中西芳彦 堀辰夫 井原誠吉 昭和51年卒(28回) 中村敬子 溝口学 森切瑞恵 奥山真理綾 大栗利恵 相馬優一郎
- 桜井牧子 大熊幸雄 稲毛牧子 黒須仁 沼口正英 黒沢豊 宝寺浩 俵知之 市村里紗 平成13年卒(53回)
- 昭和42年卒(19回) 稲垣昇 伊藤きみ子 澤井敏夫 船津徳英 松澤勇 村松昭彦 吉田浩之 山崎正一 小野民由希 奥田良治 大寺直子 平成14年卒(54回)
- 福田まち子 阿部輝雄 武藤智江 浅見敏夫 松浦則夫 伊藤京子 福川英司 工藤茂博 福川英司 工藤茂博 福島久美子 小野民由希 奥田良治 大寺直子 平成15年卒(55回)
- 河合のり子 佐竹恵津子 昭和47年卒(24回) 林明美 福井一夫 醉崎利夫 安西雪子 昭和58年卒(35回) 大西徹 村田勉 柳愛郎 平成16年卒(56回)
- 松本知歌子 秋広小菊 堀富雄 岩城真幸 石川理恵 久保村康史 羽田俊之 藤本浩志 濱野広悦 平松ゆう子 伊藤育子 高嶋志乃 橋本雅子 小森俊史 本間幸信 増沢智成 平成18年卒(58回)
- 松本登美子 渡辺美嗣子 塩見幸子 野口万里子 関口幸子 三村優子 三野裕之 渡邊ルミ 竹内大介 平成19年卒(59回)
- 佐藤良雄 堀見幸子 野口万里子 関口幸子 三村優子 堀内比呂志 浅見哲哉 平松ゆう子 伊藤育子 高嶋志乃 橋本雅子 小森俊史 本間幸信 増沢智成 平成18年卒(58回)
- 昭和43年卒(20回) 松田博 山田和博 白石哲郎 松澤静男 堀内比呂志 浅見哲哉 三野裕之 渡邊ルミ 竹内大介 平成19年卒(59回)
- 山岸勉 三谷真弓 兼良子 福田定男 星葉子 新藤葉子 荒井正明 笠井千奈美 山中英実 岩本和久 平成22年卒(62回)
- 木村美代子 本間葉子 間山和幸 高橋理恵子 河野正 内田圭子 閻瀬功一 大熊康典 市原雄心 平成7年卒(47回)
- 横山千津恵 磯田喜美子 津田和子 高橋理恵子 河野正 内田圭子 閻瀬功一 大熊康典 市原雄心 平成7年卒(47回)
- 千谷一郎 片岡素子 安藤裕子 高橋律子 渡部智博 赤羽明宏 増田恵子 山本幸代 児玉朋子 平成8年卒(48回)
- 山下和子 八木純子 安藤裕子 高橋律子 渡部智博 赤羽明宏 増田恵子 山本幸代 児玉朋子 平成8年卒(48回)
- 昭和44年卒(21回) 安藤昭 奥山清志 浅川順子 吉倉康晴 阿野清治 西山幸代 増田恵子 山本幸代 児玉朋子 平成9年卒(49回)
- 関口彰子 丸山紀子 池尻寛子 吉倉康晴 阿野清治 西山幸代 増田恵子 山本幸代 児玉朋子 平成9年卒(49回)
- 池亀利恵子 岩井文子 高橋正 山守純子 郷由美子 田中こずえ 小林功 信田照幸 長谷川友孝 大塚信之介 平成10年卒(50回)
- 榊原啓子 中島恒雄 武井隆一 加藤えみ子 郷由美子 田中こずえ 小林功 信田照幸 長谷川友孝 大塚信之介 平成10年卒(50回)
- 昭和45年卒(22回) 吉田和枝 大類由美子 島内則子 五ノ下幸亭 杉山利行 杉井美佐子 島村明美 奥山信男 高橋洋吏 片岡浩一 古山嘉美 平成11年卒(51回)
- 吉田和枝 大類由美子 島内則子 五ノ下幸亭 杉山利行 杉井美佐子 島村明美 奥山信男 高橋洋吏 片岡浩一 古山嘉美 平成11年卒(51回)
- 渋谷嘉子 綿貫保子 道下敦子 栗原宏夫 根本みどり 小野裕子 奥山信男 高橋洋吏 市川法生 笹本紀子 阿部愛 藤見歩 平成12年卒(52回)
- 堀田美枝子 島茂美 富樫正紀 中川順子 今原真理子 平井順子 奥山信男 高橋洋吏 市川法生 笹本紀子 阿部愛 藤見歩 平成12年卒(52回)
- 小林妙子 島泰子 竹内斎 若林伸也 田口久徳 田口里香 栗原英一 石塚望 海老原朱里 近野綾子 昭和26年卒業[なでしこ会] 平成25年卒業生一同
- 中野千枝子 駒井潔 田中政信 夏堀操 戸田仁 吉岡典子 楠瀬久美子 昭和26年卒業[なでしこ会] 平成25年卒業生一同
- 阿部博之 新井康俊 後上真一 河村郷子 戸田仁 吉岡典子 楠瀬久美子 昭和26年卒業[なでしこ会] 平成25年卒業生一同

創立八〇周年記念特集 浦和第二高等女学校時代を語る 卒業生座談会

浦和西高校は、今年創立80周年を迎えます。昭和9年に浦和第二高等女学校として開校してから、昭和25年に浦和西高等学校となるまでの16年間は、埼玉女子師範学校（昭和18年以降は埼玉師範学校女子部）に併設された女子校でした。今回は、浦和第二高等女学校を卒業された、松本登美さん（旧制第3回）、清野幸子さん（旧制第9回）、中野敦子さん（旧制第10回）にお集まりいただき、当時の学校生活や社会の様子についてお話を伺いました。

—お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

本日は、第二高等女学校時代の学校生活の様子などをお聞かせいただければと思います。

松本 私は旧制第3回卒業生です。昭和15年、当時で言うと皇紀2600年に卒業しました。

清野 私は旧制第9回卒業生で、昭和20年3月卒業です。

—松本さんには、現在も本会の理事として活躍いただいています。清野さんには長く本会の副会長をお勤めいただきましたが、どのようなきっかけがあったのでしょうか。

松本 旧制の卒業生から1人、副会長を出してほしいとお願いをされました。そこで私が若い方から出てもらおうと考えまして、清野さんにお願いすることにしました。

清野 卒業後に埼玉県教育委員会に勤めたものですから、学校には縁がありましたので、お断りすることもできなくてお引き受けしました。

中野 私は、旧制第10回の卒業生です。戦後に、疎開先の和歌山から浦和に引越してまいりまして、5年生の時、1年間だけお世話になりました。清野さんは4年生で卒業されましたけども、毎年クラス会では一緒にしています。



▲ 別所校舍

—第二高等女学校に入学するために、どのような試験があったのでしょうか。

清野 私の時は筆記試験がないの。女性の吉井先生という方が浴衣を持ってきて、「これをたたみなさい」と言われてね。あとは口頭試問でしたね。

中野 私は編入試験を受験したのですが、いろいろなことを書かされましたよ。簡単な試験でしたけどもね。

松本 私の時は筆記試験があつて、

算数の問題を解いた記憶がありますよ。口頭試問もありました。

—第二高等女学校ではどのような学校生活を過ごしましたか。今の時代とは、どのようなところが違いますか。

松本 今の生徒は教室のお掃除をしますよね。私の時は、先生が女学生には重たい物を持たせないという方針で、教室の掃除はしたことがなかった。女学生のお掃除といえば庭掃除と決まっていましたね。

清野 私の時は教室掃除もしましたよ。松本さんの時は、私達と違ってお嬢様扱いられていたのよね。

中野 私が入学したのは戦後ですから、マッカーサーのGHQからいろいろと指示が出て、教科書を墨塗り



▲ 中野さん

で線を引かされたのはよく覚えてい
ます。習っていないページも、ほと
んど全部塗りつぶしていました。

—第二高等女学校は師範学校の併設
校でしたが、師範学校とのつながり
も深かったのでしょうか。

松本 女学校の校舎はなくて、すべ
て師範学校と一緒にした。ここは女
学校の教室、ここは師範生の教室と
いう区分がないの。今の埼玉大学附
属中学校がある、鹿島台という場所ね。

清野 全て借り物でしたからね。講
堂には、師範生が練習するためのオル
ガンがたくさん並んでいました。

松本 オルガン検定というのがあつ
てね。それが弾けないと音楽の山本
先生から指導されるのよね。

清野 私、山本先生が『金波・銀波』
という曲を弾いていたのを今でも覚
えている。あの先生はオルガンがう
まかったわね。

—女学校には珍しくプールもあつた
ようですね。

清野 師範学校と一緒にしたからで
すね。夏はプールで泳ぎました。

松本 先生になった時に泳げないと
いけないから、師範生のためにプー
ルを作つて泳がせたの。



▲松本さん

中野 私が5年生の時には、プール
に入らせてもらった記憶がないです
ね。

清野 私は25mプールで、1,000m
くらい泳ぎましたよ。夏の体育の時間
はいつもプールでした。

松本 師範生の場合、25mを泳げな
いと夏休みはダメだと先生が言つて
ね。25mを泳ぐことができなくて、
退学してしまつた人もいたんです
よ。あとちょっとで先生になれる時
期だつたのよね。

清野 大変でしたよ。体力をつける
ためにね。

—学校生活の楽しみの一つに修学旅
行があると思いますが、どのような
思い出がありますか。

松本 私は3泊で京都へ行きました。

伊勢神宮でまず朝日を拜んでから奈
良へ向かい、それから京都へ行きま
した。歴史の先生から、百済観音は
素敵だから、絶対見て来いよと言わ
れた記憶があります。修学旅行は私
の時まではあつたけど、下の学年は
行っていないかもしれないわね。

清野 私の時は大東亜戦争が始まつ
て、修学旅行はなかつたですね。在
学中も農業をしたり、工場に行つた
りと、勉強どころではなかつたす
からね。

中野 私の時は卒業記念の修学旅行
がありまして、1泊で秩父の三峰神
社へ行き、三峰神社の広い大広間に
泊めていただきました。秩父の農家
は、2階が全部蚕小屋になつていて、
繭がたくさんできていたのを覚えて
います。埼玉県に来て、初めて桑の
木や養蚕農家を見てびっくりしまし
た。こういう風にして絹糸はできる
のだなというのを、初めて知りました。

—お話を伺っていると、戦争が
学校生活にも影響を及ぼしているよ
うですね。

松本 例えば、私の時は、制服はセー
ラー服。第一高女はネクタイの色も
紺と決まっていたけれども、第二高
女はネクタイの色は自由でした。清
野さんと中野さんの時は、もうセー

ラー服じゃなかつたでしょ？

清野 私達の時は、セーラー服じゃ
なかつたわね。上着はヘチマ襟の国
民服でね。

中野 ヘチマ襟の制服は全国統一
で、下はモンペでしたね。全国どこ
でも同じ格好でした。

清野 体育の時間も手りゅう弾を投
げる練習のために、投てきをやりま
した。それから水の入つたバケツを
持つてバケツリレーね。冬は寒稽古
で、なぎなたをやりました。真冬な
のに裸足ですよ。



「勤労働員なども経験されたのでしようか。」

清野 やりましたよ。今の蔵の沖電気のところに報国農場があったのよね。大八車を引いて、国道沿いを1時間以上歩いて行きました。

松本 このあたりの学校はみんなそこに行きました。鎌かついで歩いてね。清野 農場ではサツマイモを作っていました。中が白っぽくて、大きくて、たくさんできるの。でもガリガリしててね。

中野 農林1号という品種かな。



△清野さん

清野 工場の旋盤工をやらない時には、農場へ行って百姓ですよ。それから出征兵士のいる与野の方の農家に行ってお手伝いをしました。稲刈りのほかに、麦刈りもね。麦の間に

サツマイモが植えてあるから、それを切らないように刈らないといけなくて。

松本 下の方を草むしりしなくてはいけないのだけど、葉っぱのところにも虫がいてね。麦踏みもやったわね。

中野 戦後になって5年生の時も農場へ行きましたよ。麦踏みさせられたのを覚えています。田舎でも、疎開先でもしていなかったのに、浦和でやることになるとは思わなかったわと思いつながら、麦踏みをしたのを覚えていますね。

清野 農家へお手伝いに行った時に、農家の人が、おやつに蒸かしたサツマイモをくれたのは嬉しかった。中野 そういった時代ですから、女学校を卒業したとはいっても、今の方と実力は全く違いますね。女学校を卒業したとは言えないような感じ

です。清野 そうそう、言えないわね。本当に勉強してないもの。松本 私の時代までは勉強もできたけども、その後は戦争も激しくなつて大変だったと思いますよ。

「本日は貴重なお話をいただき、ありがとうございました。」

(まとめ 広報部 片岡)

「同窓会だより 今日だけ高校生」

なでしこ、傘寿を祝う

毎年会報をお送り戴き有り難うございます。戦後間もない頃の学生生活六年間は卒業生私共の思春期で楽しい思い出が沢山ございました。



▲昭和26年卒 なでしこ会出席者一同

傘寿を兼ねたクラス会を平成25年5月17日に開催致しました。出席者一同の心ばかりの気持ちで西麗会に寄附させて頂く事に決まりました。

我が母校の益々の御発展を願っております。校長先生をはじめ諸先生方、事務室の方々又後輩の皆様、御健康をお祈り申し上げます。

古稀を祝う同窓会

藤井克己(昭和三七年卒)

母校を卒業して50余年となる平成25年11月8日(金)午後0時半より、浦和ロイヤルパインズホテルにおいて、昭和37年(第14回)卒の古稀を祝う同窓会が盛大に開催されました。9年前に還暦を祝う同窓会が行われた時の幹事が中心となって準備を進め、当日は、齊藤(倉持)先生と同窓生87名が出席しました。

何といつてもこの学年は、第二次大戦末期で敗色濃厚な時代にこの世に生を受け、その後も満足な



食糧もない中で育ち、与野駅から未だ「西高通り」が未開通で狭小な路地を通過していたことなどを懐古しつつ旧交を温めることが出来ました。

各自母校のことを顧みるゆとりが無いままそれぞれの道を歩み、日本経済の高度成長に貢献して気が付くと今でした。

改めて母校の変貌ぶりをかみしめ西麗会員として支えつつ、まだまだ地域にも役割を果たしていくことを誓って解散しました。

第3回西麗医会

(浦和西高卒医師の集い)

開催される

福田 純(昭和四三年卒)

平成25年8月4日、浦和ロイヤルパインズホテル「四季」にて2年半ぶりに、金子幸誠校長をお招きして開催された。今回2人の医師が初参加。坂戸市の守屋先生(新18回)と野口先生のご令嬢である伊藤先生(新45回)で、今回の参加者も前回同様8名であった。互いに自己紹介と近況を報告した後、平成25年4月から着任した金

子校長に母校の現状報告と問題点も含め、校長として西高への思い入れを話して頂いた。

西高は創立80年にあたり「UNP ロジエクト80」を発表した。その中で「3つのCでああなたの夢を実現します」としてChallenge(挑戦)、Creation(創造)、Communication(自己表現)を掲げている。

しかしながら、受験で希望校に入るにはさらに2つのCが必要であろう。学生を絞るだけでは、良き西高の校風である「自主自立」「自由な校風」は損なわれかねない。浦和西高の良さを消さずに結果を残すには高校生活にメリハリをつけることが必須である。自由な校風は残したまま、「やる時は集中してやる」ことである。つまり4つ目のCはConcentration(集中力)である。そして5つ目はこれを継続させるC。Continuation(継続)であろう…。

だが、人生の中では受験競争に勝つことより大切なことが沢山ある。しかも高校生活はたった3年しかない。若く感受性の強いこの3年間に、人として、社会人として学ぶべきことが山ほどある。色々な価値観や考えを持った級友たちとの交流、社会の仕組みや成り立ちを学んだり等々、この貴重

な時間は友人や教師たちから沢山吸収する時間でもある。「決して受験だけに費やされるべきではない」が、本日集まった西麗医会の方々の意見でもあった。西麗医会はOBとしてこれからの浦和西高に「微力でも貢献しよう！」を目的として発足している。今後、西麗会名簿などから医師になった方々を募り、本会のさらなる発展をめざすことを確認し、散会となった。



前列左から 荻野靖典S37卒：精神科(三島)、金子校長、野口哲夫S40卒：整形外科(川口)、丹野嬉喜子S40卒：元川口保健所長、伊藤久美子H5卒：川口工業病院小児科
後列左から 福田純S43卒：内科・循環器科(戸田)、守屋爽一S41卒：精神科(坂戸)、福田定男S47卒：内科・消化器科(川口)、阿部理一郎S41卒：内科(浦和)

訃報

謹んでお悔やみ申しあげます。



○戸室チヨ先生(養護教諭)
母は平成24年7月に他界しました。存命中はお世話になりました。ありがとうございました。
(長男より)

○大木義夫先生(理科)
夫は平成24年7月に逝去しました。長い間、大変お世話になりました。ありがとうございました。
(奥様より)

○荒井淳雄先生(英語)
夫は平成24年10月23日に死去いたしました。生前大変お世話になりました。ありがとうございました。
(奥様より)

5月25日(日) 母校で会いましょう

～西麗会總會のご案内～



▲昨年の総会

■日時 5月25日(日)
 10:30 総会開会
 11:30 記念授業
 12:40 懇親パーティー
 14:30 閉会予定

■会場 西高50周年記念館
 ■記念授業講師 中村正美先生

□演題
 「英語と私
 ～そしてあなたが英語に求めるもの」



▲昨年の総会

今年の記念授業は中村正美先生(英語)
 「英語と私～そしてあなたが英語に求めるもの」



今年の総
 会記念授業
 講師の中村
 正美先生は
 学習院大学
 英米文学科

を卒業後、野村総研でのお仕事と並
 行して大学院を修了。その後昭和54
 年より11年間西高で教壇に立たれ
 ました。坂戸高校外国語学科での勤
 務を最後に退職、現在は東京国際
 大学で英語のスキルについて教鞭
 をとっていらつしやいます。

西高の第一印象としては自由、教
 室が汚い、雑多、制服がない、文化
 祭のダンス、球技大会など一言で言
 えば「驚き！」だったそうです。

自由な校風と休講黒板など大学
 のような高校だとも思われたそう
 です。

生徒が信頼されていた学校、教員
 に刺激を与える生徒がいて、教員
 としての生きる姿勢を学んだ学校
 だったと懐かしそうにお話して下
 さいました。

初めて担任した57年卒業の福島
 さん、吉田さんと共にお話が弾み予

定の時間を大幅にオーバーしての
 楽しいインタビュとなりました。
 英語教育ひとすじに生きていら
 した中村先生の記念授業がどんな
 ものになるのか、色々な仕掛けがあ
 るかもしれません。とても楽しみで
 す。英語が好きだった人も、ちよつ
 と苦手だった人も西高生に戻って
 英語の授業を受けてみませんか。

(文責) 綿貫 保子 (昭和45年卒)
 福島久美子 (昭和57年卒)
 吉田 浩之 (昭和57年卒)

ご注意を！

西麗会会員名簿は会員相互の便益を
 図ることを目的に作成したもので、
 営利目的に使用することや会員以外
 に貸与・転売することを一切禁止し
 ております。皆様のご理解、ご協力
 のほどお願い申し上げます。

編集後記

西麗会あてのメールに懐か
 しい友の名前を見つけまし
 た。彼は仕事をリタイアし、
 浦和西高のことをふと思ひ出
 し、インターネットで西麗会
 ホームページに辿り着いたと
 のこと。そして四十数年振りに
 母校を訪れ、その後、級友との
 再会を果たしました。

西麗会の会報やホームペー
 ジがこのような機会の一助に
 なれば、幸いに思います。
 (大熊)

広報部会

大熊幸雄・堀田美枝子
 本間葉子・斉藤俊一
 小林 功・岩本和久
 片岡浩一

編集・発行 西麗会

発行人 村上明夫
 編集人 大熊幸雄

〒330-0042
 埼玉県さいたま市浦和区木崎3-1-1
 FAX 048 (830) 1117
 西麗会メールアドレス
 info@seireikai.org
 西麗会ホームページ
 http://www.seireikai.org/index.html